

2016年度 京都司教区聖書講座

神の正義と神のいつくしみ

-いつくしみの特別聖年にあたって-



<プログラム>

	水・夜	木・昼	テーマ	講師
1	5/11	5/12	導入 -創世記-	村上 透磨 神父 (京都司教区)
2	5/25	5/26	出エジプト記	中川 博道 神父 (カルメル会)
3	6/8	6/9	イザヤ書	大塚 喜直 司教 (京都司教区)
4	6/22	6/23	ホセア書	澤田 豊成 神父 (聖パウロ会)
5	7/6	7/7	ヨブ記	一場 修 神父 (マリスト会)
6	7/20	7/21	詩編	阿部 仲麻呂 神父 (サレジオ会)
7	9/14	9/15	イエスのたとえ話①	白浜 満 神父 (サンスルピス会)
8	9/28	9/29	イエスのたとえ話②	奥村 豊 神父 (京都司教区)
9	10/12	10/13	イエスのいやし	西 経一 神父 (神言会)
10	10/26	10/27	イエスのゆるし	片柳 弘史 神父 (イエズス会)
11	11/9	11/10	イエスの派遣	北村 善朗 神父 (京都司教区)
12	11/30	12/1	イエス・キリスト、父のいつくしみのみ顔	鈴木 信一 神父 (聖パウロ会)
13		12/8	感謝と派遣のミサ	聖書委員会

－すすめのことば－

2015年12月8日から、いつくしみの特別聖年に入り、わたしたちは教皇フランシスコの勧めに従って、神のいつくしみを黙想するように招かれています。教皇は大勅書の中で、「いつくしみ、それは神がそれゆえにわたしたちに会いに来られる、究極の最高の行為です」(2)と述べています。

今年の聖書講座では、「神の正義と神のいつくしみ」をテーマとして取り上げます。神の正義と神のいつくしみは対立的にとらえられがちですが、三位一体の神の中ではひとつの現実にほかなりません。わたしたちが神のいつくしみに触れるとき、教皇が言われる「いつくしみ、それは人生の旅路で出会う兄弟と真摯に向き合うとき、それぞれの心で働く、基本となる法です」(2)という言葉の意味を正確に理解することができるのではないのでしょうか。

聖書のみことばを通して、神のいつくしみの神秘を観想し、わたしたちが神のいつくしみを現代社会において証していければと思います。

- テーマ 『神の正義と神のいつくしみ ーいつくしみの特別聖年にあたってー』
- ◆ 対象 どなたでも
 - ◆ 日時 全13回(8月休講、13回目は昼の部でミサ)
水曜日・夜コース 午後 7時～ 8時20分(開始時刻にご注意ください)
木曜日・昼コース 午前10時30分～11時50分
*夜と昼の内容は同じです。どちらか都合の良いコースをお選びください。
 - ◆ 場所 カトリック河原町教会地下 ヴィリオンホール
*車でのご来場はご遠慮ください。
 - ◆ 持ち物 聖書、筆記用具
 - ◆ 会費 4,000円
会費は現金払いではなく、以下の郵便振込みにてお支払ください。
振込口座 00910-9-148401 京都教区聖書委員会
 - ◆ 申込み このチラシに挟んでいる振込用紙か又は郵便局の振込用紙に、夜か昼のコース名、所属団体名、氏名をご明記ください。振込みと同時に申込みの受付とします。振込用紙は聖書委員会、河原町教会受付にもあります。
 - ◆ 申込締切 4月30日(土)
 - ◆ 問合せ先 京都司教区聖書委員会
TEL 075-211-3484 (月、水、木の10時～16時)
FAX 075-211-3910 e-mail seisho@kyoto.catholic.jp